

# 狭山市駅西口駅前の基本方針がまとまりました

狭山市駅は、一日で約5万6千人(西武新宿線中6番めに多い)のかたが乗降する市の中心駅です。しかし、西口地区は、駅前広場が狭いことや、幹線道路の整備が完成していないことなどから、朝夕の通勤・通学時間帯は混雑する状況になっています。市では、これまでの調査をもとに、パブル経済崩壊後の社会経済情勢に対応した計画について地元権利者と話し合いを進めてきました。そうしたなか、昨年の7月に設立された権利者組織「狭山市駅西口再開発協議会」と協議し、住宅・都市整備公団と共同調査を行い、開発整備の基本方針がまとまりましたので、お知らせします。

## 新しい出会いの場と生活、市民文化の拠点づくり

狭山市駅西口駅前の基本方針では、駅前の課題を解決する手法として、次の2つの事業を提案しています。その事業のひとつが、駅周辺で土地所有者などに協力を得て行う市街地再開発事業(約3.6ha)です。この事業では、現在バスやタクシーと人が混雑する駅前を、車と人の流れを分離した安全で快適な駅前広場や道路、公共広場、駐輪場などに整備します。

## 市民共同によるまちづくり

この基本方針は、学識経験者、権利者、自治会、商工団体、市民有識者、行政機関で構成する狭山市駅西口周辺地区まちづくり検討委員会(委員長 佐藤滋早稲田大学教授)で検討し作成しました。これは、長年の地元の皆さんのご理解と協力があってのもので、この再開発計画がこの地で生活しているかたにとって、21世紀に誇れるまちづくりとなるよう、微力ながらがんばって参りますので、市民の皆さんのご支援をお願いいたします。



狭山市駅西口再開発協議会長・村尾滋美氏

市民参加のまちづくりにご意見をお寄せください

市街地再開発事業を行うには、そこで生活しているかたの協力なしには、実現できません。市では、狭山市駅西口再開発協議会との意見交換を進め、早期の実現を目指します。ご意見をお寄せください。

また、駅前広場の両側に、商業・住宅・公益施設・都市サービス施設や駐車場などからなる再開発ビルを建設します。公益施設については、中央公民館などを他の施設と複合し、新しい形態での導入を計画しています。

もうひとつが、中央公民館や平成12年4月に移転する人間川小学校などの跡地を利用する新都市機能ゾーン整備事業(約5ha)です。この事業では、公園・中低層住宅地・代替地など(公益施設、地区内道路、駐車場を計画しています)。

駅前広場に連続する公共広場や小学校跡地の公園は、中心市街地の潤い空間として、市民参加型のイベントの開催や災害時の避難場所など、多用途の活用が期待されます。

このように市街地再開発事業と新都市機能ゾーン整備事業の相乗効果によって、買い物や創造文化活動などの拠点として、市民生活に便利で賑わいのもてる空間となるよう計画内容の充実を図ります。今後のスケジュールは、都市計画法に基づく法律手続(都市計画決定)を平成12年度末に完成はおおむね平成18年度を予定しています。なお、新都市機能ゾーンは、さらに数年を要する予定です。

問い合わせ・ご意見  
狭山市駅西口開発事務所へ  
☎955・0023